



骨髄バンク設立25周年記念 全国大会～2万人のありがとう～

公益財団法人日本骨髄バンク
理事長 齋藤 英彦

設立25周年、累計移植件数2万例到達（今年中）を記念 世界骨髄バンクドナーデーの9月17日（土）12：30～

公益財団法人 日本骨髄バンク（東京都千代田区、理事長：齋藤英彦）は、白血病などの血液疾患の患者さんを救命するため、広く国民の皆さまから骨髄提供希望者（ドナー）を募り、患者さんへ骨髄等を提供する橋渡しを行っています。

日本骨髄バンクでは毎年1回、骨髄バンクの普及啓発を目的に「骨髄バンク推進全国大会」を開催しています。今年は設立から25年目の年であり、また本年中には累計移植例数が2万例に到達することが見込まれており「骨髄バンク設立25周年記念 全国大会 ～2万人のありがとう～」を9月17日（土）の世界骨髄バンクドナーデーに合わせて開催します。

骨髄バンクは平成3年12月に発足し、設立から25年を迎えます。これまでに実施された累計移植例数は19,834例（平成28年8月末現在）で毎月100例前後の移植を行っていることから、本年中には2万例に到達する見込みです。

第1部の式典では事業報告や、骨髄バンク事業に深いご理解と多大なご協力をいただきました個人・団体・企業の皆様へ感謝状を贈呈します。

第2部では、骨髄バンクが協力している京都大学 i P S細胞研究所の副所長 中畑龍俊様によるご講演、第3部では「造血幹細胞移植の現場から」と題して、当法人の理事で慶應義塾大学医学部 内科学教授の岡本真一郎様、慶應義塾大学病院 看護師長の近藤咲子様のご講演を予定しています。

また第4部では「2万人のありがとう」をテーマに、移植経験者や提供ドナーが出演する、移植例数2万人到達記念のコーナーを予定しています。

司会進行は公私にわたって骨髄バンクにご支援をいただいている、テレビ東京 報道局 キャスターの大江麻理子様がおこないます。

大会概要は下記の通り、入場は無料、どなたでもご参加できます。

骨髄バンク設立25周年記念 全国大会 ～2万人のありがとう～

- 開催日時 平成28年9月17日（土曜日） 12：30～16：30
- 開催場所 藤原洋記念ホール（慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館内）
- 主催 公益財団法人 日本骨髄バンク
- 共催 血液情報ひろば・つばさ
- 協力 神奈川骨髄移植を考える会
- 後援 神奈川県、日本赤十字社、日本造血細胞移植学会、
関西骨髄バンク推進協会、全国骨髄バンク推進連絡協議会

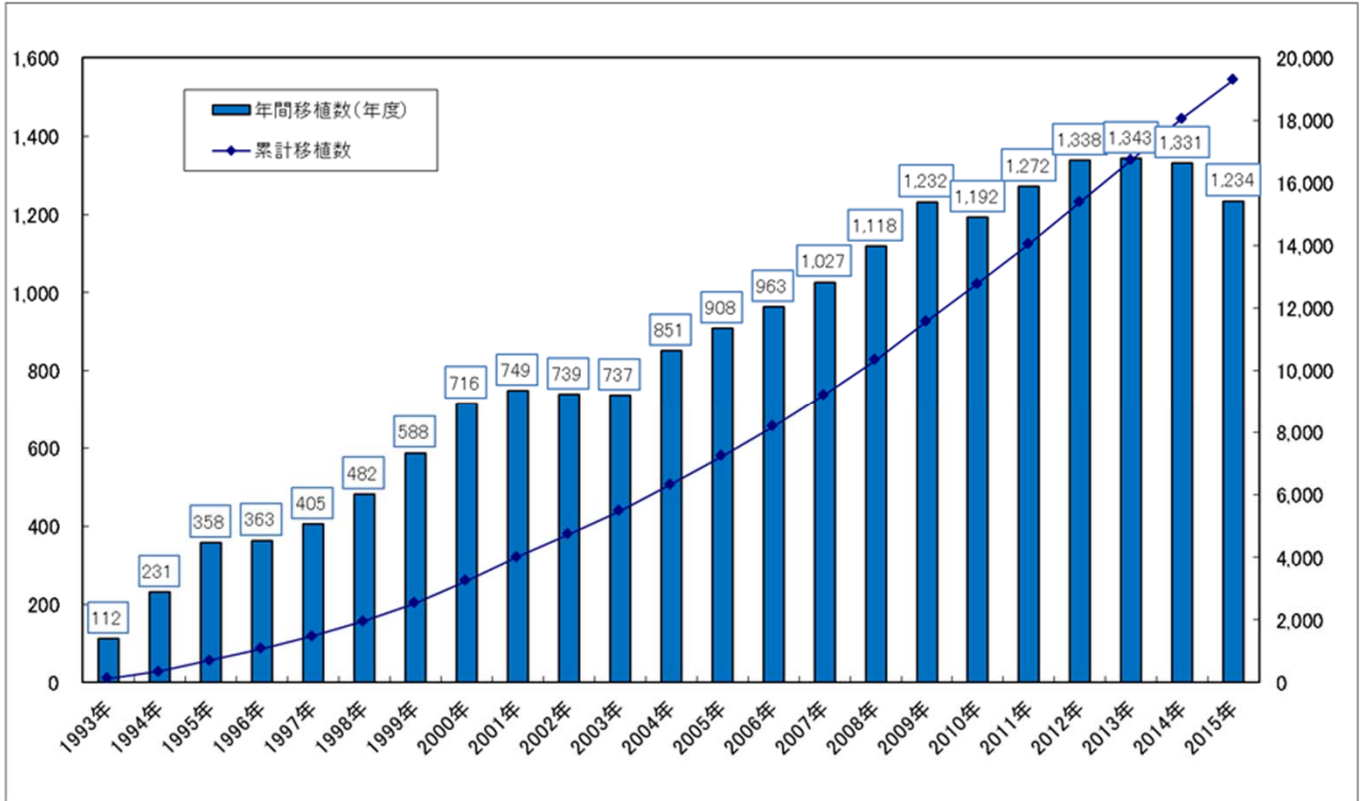


骨髄バンクの現状

平成28年8月末現在

- ドナー登録者現在数 464,283人
- 患者登録現在数 3,321人
- 累計骨髄移植例数 19,834例

■ 移植例数推移



日本骨髄バンクのあゆみ

- ・ 1991年 12月 財団法人骨髄移植推進財団 設立認可
- ・ 1992年 1月 日本赤十字社「骨髄データセンター」設置
- ・ 1992年 6月 患者登録の受付開始
- ・ 1993年 1月 日本骨髄バンクによる初の骨髄移植実施
- ・ 1997年 1月 日本骨髄バンクによる骨髄移植累計1,000例
- ・ 1998年 8月 ドナー登録者10万人到達
- ・ 2003年 8月 日本骨髄バンクによる骨髄移植5,000例到達
- ・ 2004年 11月 ドナー登録者20万人到達
- ・ 2008年 1月 ドナー登録者30万人到達
- ・ 2008年 12月 日本骨髄バンクによる骨髄移植10,000例到達
- ・ 2010年 10月 末梢血幹細胞移植 (PBSC T) を導入
- ・ 2011年 12月 ドナー登録者40万人到達
- ・ 2013年 10月 法人名を「公益財団法人 日本骨髄バンク」に変更
- ・ 2014年 1月 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」施行
- ・ 2014年 4月 法律に基づく「骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者」の許可取得
- ・ 2016年 12月 日本骨髄バンク25周年



大会プログラム

<第1部> 式典 12:30~13:30

○主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介、感謝状贈呈、事業報告

<第2部> 「iPS細胞研究の現状について」 13:40~14:35

○山中伸弥 京都大学iPS細胞研究所所長のビデオメッセージ

○中畑龍俊 京都大学iPS細胞研究所副所長のご講演

<第3部> 「造血幹細胞移植の現場から」 14:45~15:35

○岡本真一郎 慶應義塾大学医学部内科学教授のご講演

「造血幹細胞移植の現状と課題、そして将来」

○近藤咲子 慶應義塾大学病院看護師長のご講演

「造血細胞移植患者への支援」

<第4部> 2万人のありがとう 15:35~16:30

○移植経験者・ドナーからのメッセージ 他

日本骨髄バンクの「再生医療用iPS細胞ストック」への協力について

日本骨髄バンクは平成28年4月から京都大学iPS細胞研究所が企画する「再生医療用iPS細胞ストック」に協力しています。京都大学iPS細胞研究所では「拒絶反応が起きにくいHLA型」を持つ健康なドナー（HLAホモドナー）の方の血液から、あらかじめiPS細胞を複製し、ストック（保存）を進めています。iPS細胞を約50種類ストックすることで日本人全体の約7割以上の患者に移植が可能であると考えられます。

日本骨髄バンクでは平成28年4月以降、登録申し込み時に記入いただく登録申込書に「再生医療用iPS細胞ストック」への協力のための個人情報利用の可否についてのチェックボックスを設けています。「拒絶反応が起きにくいHLA型」を持つドナー登録者へは、後日、日本赤十字社より案内文書が届き、協力の可否をドナーご本人より京都大学iPS細胞研究所に連絡していただきます。協力いただけるドナーには血液のご提供をお願いすることになります。

「再生医療用iPS細胞ストック」は、これまでの治療法では病状改善の望めないような難病や外傷に苦しむ多くの患者さんへ希望となりうるものと期待されています。京都大学iPS細胞研究所は早期に多くの協力ドナーを確保することが重要な課題であり、年間約3万人の新規ドナー登録者が見込める日本骨髄バンクが協力することで、迅速に協力ドナーを集めることができると考えられます。

「世界骨髄バンクドナーデー」について

世界中の造血幹細胞移植のドナーに感謝し、ドナーをより多くの人に知ってもらおうと、2015年から9月の第3土曜日が「世界骨髄バンクドナーデー」(World Marrow Donor Day)に定められました。

世界の骨髄バンクドナー登録者数は2,900万人。日本は約46万人で世界8位。「世界骨髄バンクドナーデー」に合わせて世界各地で様々なイベントが行われます。日本からのメッセージとして全国大会の様子をフェイスブックで配信します。



<本件に関するお問い合わせ> 公益財団法人 日本骨髄バンク
広報渉外部 担当：小島、田中
(電話) 03-5280-8111 ※平日9:00~17:30

骨髄バンク設立25周年記念全国大会

～2万人のありがとう～

入場無料

日時

平成28年 **9月17日** (土)
12:30～16:30 (開場 12:00)



※この日は世界骨髄バンクドナーデーです。

場所

慶應義塾大学 日吉キャンパス内
協生館 藤原洋記念ホール (横浜市港北区日吉 4-1-1)

アクセス：東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン「日吉駅」徒歩1分

Program

1 式典

2 iPS細胞研究の現状について

- ・ **山中 伸弥 所長** ビデオメッセージ
- ・ 記念講演 京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 副所長 中畑 龍俊



ビデオメッセージ

山中伸弥 所長



中畑龍俊 副所長

3 造血幹細胞移植の現場から

- ・「造血幹細胞移植の現状と課題、そして将来」
慶應義塾大学医学部 内科学教授/日本骨髄バンク 理事 岡本 真一郎
- ・「造血細胞移植患者への支援」
慶應義塾大学病院 看護師長 近藤 咲子



岡本真一郎 教授

4 2万人のありがとう

移植患者・提供ドナーのメッセージ



近藤咲子 看護師長

主催 公益財団法人 日本骨髄バンク

問い合わせ

日本骨髄バンク 広報渉外部
TEL:03-5280-1789 / MAIL: pr@jmdp.or.jp

共催：血液情報広場・つばさ 協力：神奈川県骨髄移植を考える会

後援：神奈川県、日本赤十字社、日本造血細胞移植学会、関西骨髄バンク推進協会、全国骨髄バンク推進連絡協議会